

[1042/5G-300-001]

Ver.19

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G300 甲状腺刺激抗体(TSAb)

甲状腺刺激抗体(TSAb)

thyroid-stimulating antibody

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

1042

001

TSAb

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

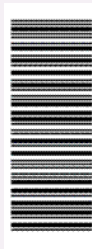
ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト

注 80 外

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

コウダイ.



血液

中検外1

*_*_*_*_*_-55008

**_*_*_*_*_*_*_*_*

C6

6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[1042/5G-300-001]

Ver.19

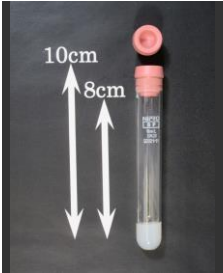
5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G300 甲状腺刺激抗体(TSAb)

甲状腺刺激抗体(TSAb)

thyroid-stimulating antibody

連絡先 3764

01	C6	凝固促進剤 + 血清分離剤(ピンク)	
採取材料	血液	採取量	6 mL
遠心分離		遠心	
測定材料	血清	測定必要量	0.5 mL



採取容器について

検体採取について

溶血で偽低値の可能性, 血清以外は不可.

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵	4 週				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
不可				不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ)

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

[1042/5G-300-001]

Ver.19

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G300 甲状腺刺激抗体(TSAb)

甲状腺刺激抗体(TSAb)

thyroid-stimulating antibody

連絡先 3764

検査機器	
検査所要日数	3～5日
検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	バイオアッセイ法

生物学的基準範囲

	男性	女性	単位
00 甲状腺刺激抗体(TSAb)	110 未満	110 未満	%

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

 TSHレセプターは分子量約100kDaの糖蛋白で、これにTSHが結合すると活性化される。このレセプターに対する自己抗体がバセドウ病で血中に出現し、甲状腺機能を亢進させる。
 この抗体は通常TSHレセプター抗体と呼ばれTSHがレセプターと結合するのを阻止するため、TSH結合阻止抗体 (TBII) ともいわれる。しかし抗体のなかには甲状腺刺激活性をもつものがあり、バセドウ病における亢進状態はこれに起因する。その一方、TSHによる刺激を阻害するもの (甲状腺刺激阻止抗体) も知られており、甲状腺機能低下症をおこすことがある。
 本検査は甲状腺刺激性自己抗体活性をみる検査であり、TSH刺激性自己抗体 (TSAb) と呼ばれる。これは、被検血清をブタ甲状腺培養細胞に反応させ、産生されたサイクリックAMP量を測定して刺激活性をみるものである。健康保険にも収載され、また疾患特異性も高いため、バセドウ病の鑑別疾患に有用とされている。TSAbは甲状腺機能亢進症の程度とよく相関するといわれている。

[1042/5G-300-001]

Ver.19

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G300 甲状腺刺激抗体(TSAb)

甲状腺刺激抗体(TSAb)

thyroid-stimulating antibody

連絡先 3764

異常値を示す病態・疾患

高値を示す病態
 バセドウ病, euthyroid Graves'病, 橋本病
低値を示す病態
 低値側の臨床的意義は少ない

参考文献

LSIメディエンス 検査要項

JLAC10

分析物	5G300	甲状腺刺激抗体(TSAb)
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	905	バイオアッセイ法

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2014/03/28	2014/04/01～	委託先会社名変更(三菱化学メディエンス⇒LSIメディエンス)
3	2014/12/18	2015/01/05～	検査方法・基準値変更
4	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(LSIM⇒BML), 報告日数変更
5	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
6	2017/03/21	2017/02/23～	検体ラベル表記変更[O]⇒[]
7	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
8	2019/04/30	2019/04/01～	外注区分変更([外注2]⇒[外注1]), 外注業者変更([BML]⇒[LSIM])
9	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更
10	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定

[1042/5G-300-001]

Ver.19

5.免疫学的検査 >> 5G.自己免疫関連検査>>5G300 甲状腺刺激抗体(TSAb)

甲状腺刺激抗体(TSAb)

thyroid-stimulating antibody

連絡先 3764

11	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
12	2021/07/02	2021/07/02～	検体保存条件を変更
13	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
14	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
15	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
16	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
17	2023/03/07	2023/04/01～	検査方法変更
18	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
19	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定